

「ロータリーの徽章」について

皆さんこんばんは。

本日はロータリーの徽章 (Emblem) についてお話しします。

ロータリーの「徽章」とは、私たちが通常ロータリー・バッジと呼んでいるロータリーマークの襟章のことを指します。ロータリーの徽章は、ロータリアンの権利としてその着用が認められ、ロータリアンとその家族が襟章に使用することが許されています。「バッジ」という言葉は、「RI 定款」「RI 細則」では、徽章と区別して使用され、例会場で付ける丸い名札を指します。

ロータリーの徽章の着用は、ロータリアンの誇りを示すと同時に、その責任を表しています。1993年～1994年度 RI 会長ロバート R・バース氏は、1993年の国際協議会で、次のように述べられました。

“ロータリアンが徽章を付けているときは、次のことを意味しています。

- ・あなたは、私を信用していただいても結構です。私は信用に値する者です。
- ・私の用意はできています。何時でも、あなたのために奉仕できます。
- ・私は受ける以上のものを、あなたに与えます。私は人のために奉仕します。”

というものです。

世界中のロータリーの組織を象徴するため考案された歯車は、1905年（明治38年）ロータリー誕生の年に生まれています。

これは、シカゴロータリークラブ会員で、彫刻家のモンタギューM・ベアが、シカゴの元気あふれる若い職業人の新しいグループの徽章として、簡単にして、かつ素朴な形の車輪を描いて、これをクラブに持参し提供したことに始まります。創立者ポール・ハリスは、モンタギューに対しいくつかの試案の提示を求めた結果、ポール・ハリスをはじめ一同が一致して賛成したのが、この車輪です。

これが今日、徽章として、道標として、カフスボタンとして、その他例会の襟章に、壁掛けに、レターヘッドに、その他いわゆるロータリーを象徴する記号として使われている歯車の始まりです。

モンタギューの考案の車輪は、そのままでは続かず、その後多くの改良が行われ、これではあまりにも簡単すぎるという見地から、モンタギュー自身がさらに車輪の下の部分に雲のようなデザインを加えました。しかし、その後幻灯のスライド製作者であるロング・トム・フィリップは雲の部分をもっと広げてその上にリボンを付け、これに Rotary Club の文字を入れました。つまり車輪が現実動いている体裁を整えたデザインにしたのであります。

この間、サフランシスコ、オークランド、シアトル、その他のクラブでは車輪を取り入れて独自の徽章を考案して使っていました。1910年に16のクラブが連合して新しいロータリー全米連合会を組織したのでありますが、定款その他規定の作成に

忙しく徽章のことに触れる余裕がありませんでした。

本部は、シカゴクラブの徽章を何とはなしに使っていましたが、1912年ドルースで連合大会を開催するにあたり、本部としてもこのままにはできないので、全体に共通するデザインを考案するよう、全クラブに呼びかけました。しかし、車輪を基本的なものとするに変わりはありませんでした。

このようにして、ドルースの大会において、ロータリーは名実ともに国際的になりましたが、ロータリーは、ここに初めてロイヤルブルー（濃い青色）と金色の歯車を正式に徽章として制定したのであります。歯車は、6本のスポークと24の歯でデザインされています。

しかし、その後専門家から、この歯車は技術的に不完全であり、このままでは動かないとの注意がありましたので、二人の技術者からなる委員会が任命され、技術的に正確に動く歯車が検討されました。

この委員会が、考案したデザインは1920年正式に採用公布となり、これが今日我々が親しんでいるロータリーマークであります。ただ一つだけ違いがあります。それは前記二人の委員が楔の穴（Key way）を見落としたことで、これがないと歯車は車軸から力を伝えることができなくて、遊んでしまうわけです。かくして、楔の穴も付け加えられて、1924年、理事会が、1918年に採択された車輪に替わり、より写実的な車輪の新しく現代的なロータリーの徽章を採択しました。この歯車が休止することなく今日まで回転し続けているのであります。

RI 理事会は、ロータリーの徽章、バッジその他の記章を、専らロータリアンだけが使用することと、全ロータリアンの利益のために、確保し保全することを義務づけられています。ロータリーの名称と徽章は、世界30カ国以上で登録され、法的保護を受けています。RI は、ロータリーの徽章の販売について免許制を採用しています。

他方、RI は、RI の徽章、バッジまたはその他の記章を、クラブやロータリアンが商品の商標その他商業上の目的に使用することを禁止しています。

ロータリアンの皆様も、例会場においては当然のこと、また例会場以外のところでも、ロータリーの徽章を必ず着用していただきますようお願いいたします。